

レッスン構成

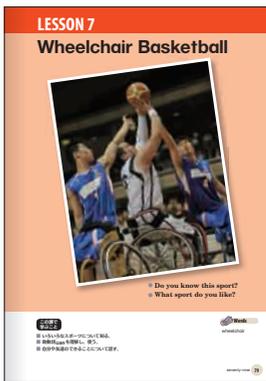
1年 LESSON 7以降のページ構成は、以下のようになっています。

● 教えやすく、学びやすいレッスン構成です。

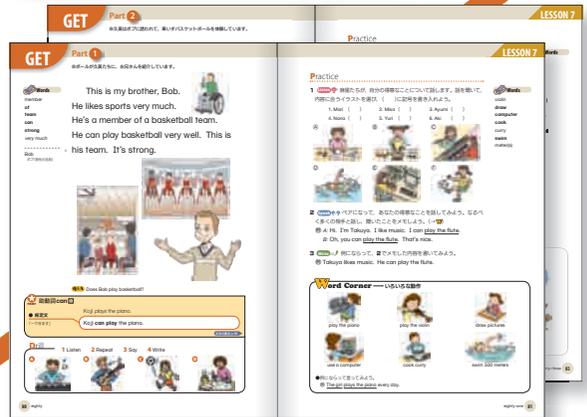
- ・各ページの役割を明確にして、学習のねらいをわかりやすくしました。
- ・英語を身につけるための手順がわかりやすいレッスン構成です。

見通しを立てる

基礎・基本を習得する



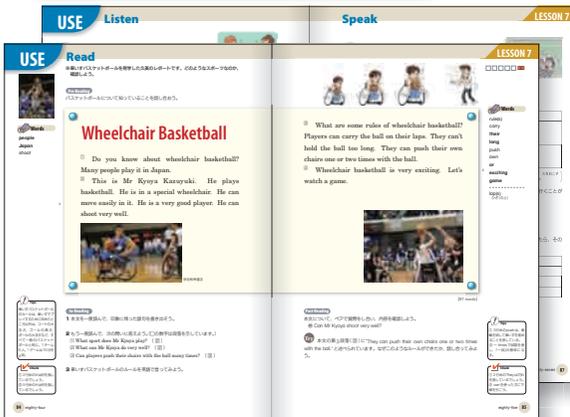
*詳しくはp.9へ▶▶▶



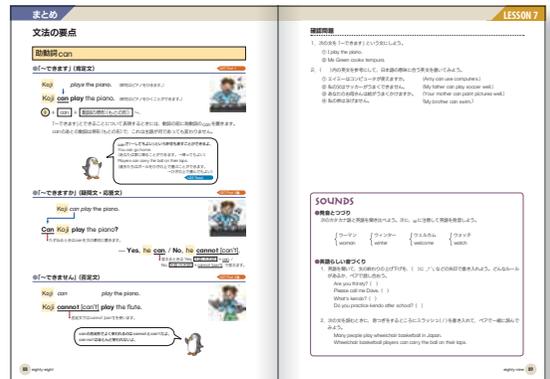
*詳しくはp.10~11へ▶▶▶

習得したものを活用する

身につけたことを確認する



*詳しくはp.12~17へ▶▶▶



*詳しくはp.18~19へ▶▶▶

見通しを立てる

とびら

ここからp.19まで、1年
LESSON 7の各ページを
詳しく紹介します。

● レッソンの「とびら」では、学習の見通しを立てます。

・これから学ぶ内容への動機づけと、レッスンのねらいの確認をするページです。

LESSON 7

Wheelchair Basketball



- Do you know this sport?
- What sport do you like?

この課で
学ぶこと

- いろいろなスポーツについて知る。
- 助動詞 can を理解し、使う。
- 自分や友達のできることについて話す。

 Words
wheelchair

seventy-nine 79

トピックに関連の深い
写真が生徒の興味・
関心を高め、レッス
ンへのスムーズな導
入を図ります。

写真やトピックに関
連した英語での問い
かけの例です。
簡単なオーラル・イ
ンタラクションにつ
ながります。

レッスンの目標が3つ
示されます。

- 「題材」
- 「言語材料」
- 「言語活動」

のねらいにあたります。

基礎・基本を習得する

GET

● 基礎的・基本的な知識・技能を習得します。

● 文法や基礎的な技能などの重要事項は、GETのページでひとつおりのカバーできます。

GETのページの本文は、短く明解な内容なので、新出文法や語いの学習に力を注ぐことができます。

Words (新語欄) では、この線より上が学習対象語です。(3年間で約1,200語。) 最重要語には太字を使っています。

Q&Aでは、簡単な英問英答で内容理解を確認します。

ターゲットとなる文(基本文)のしくみを、既習文との対比で理解します。

基本的な英文を「聞き」「繰り返し」「発話し」「書き留める」ことで、文のしくみを徹底的に身につけます。

リスニング・スクリプト

- A. Koji can play the piano.
- B. Tom can play the guitar.
- C. Miki can play soccer well.
- D. Amy can draw pictures well.

基本文は、Aのイラストを表す英文です。

GET

Part 2

● 久美はボブに誘われて、車いすバスケットボールを体験しています。

GET

Part 1

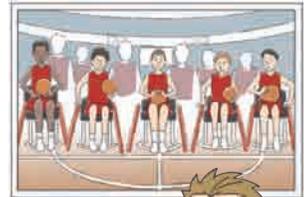
● ボールが久美たちに、お兄さんを紹介しています。

Words

member
of
team
can
strong
very much

Bob
ボブ(男性の名前)

This is my brother, Bob.
He likes sports very much.
He's a member of a basketball team.
He can play basketball very well. This is his team. It's strong.



Q&A Does Bob play basketball?

POINT 助動詞 can

● 肯定文
「～できます」

Koji plays the piano.

Koji **can play** the piano.

文法の要点 p.88

Drill

- 1 Listen 2 Repeat 3 Say 4 Write



GETの標準的な授業時間は、1見開きで2時間です。

●ターゲットとなる文のしくみを学び、練習します。

Drillで身につけた文のしくみを簡単な文脈の中で活用し練習します。「聞く」「話す」「書く」力を総合的に伸ばします。Listenで聞いた英文を参考に、Speakでやり取りし、Writeでその英文を書き留めます。

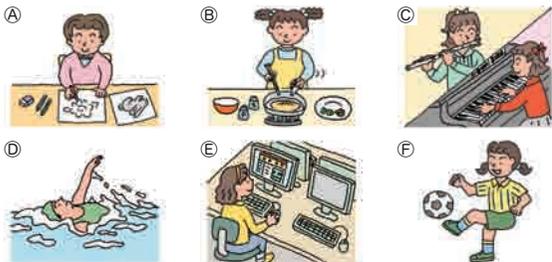
LESSON 7

LESSON 7

Practice

1 Listen 麻里たちが、自分の得意なことについて話します。話を聞いて、内容に合うイラストを選び、()に記号を書き入れよう。

1. Mari () 2. Misa () 3. Ayumi ()
4. Nana () 5. Yuri () 6. Aki ()



- Words
- violin
 - draw
 - computer
 - cook
 - curry
 - swim
 - meter(s)

2 Speak ペアになって、あなたの得意なことを話してみよう。なるべく多くの相手と話し、聞いたことをメモしよう。(→W)

例 A: Hi. I'm Takuya. I like music. I can play the flute.
B: Oh, you can play the flute. That's nice.

3 Write 例にならって、2でメモした内容を書いてみよう。

例 Takuya likes music. He can play the flute.

リスニング・スクリプト

No.1
Mari: Hi. I'm Mari. I like music. I can play the flute. I can play the piano too.

No.2
Misa: Hello. I'm Misa. I like sports very much. I can play soccer very well.

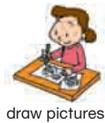
No.3
Ayumi: Hello, everyone. My name is Ayumi. I like art. I can draw beautiful pictures.

以下略

Speakの活動では、Word Cornerの語いを活用できます。

まとめのページとのリンクがひと目でわかります。

Word Corner → いろいろな動作



●例にならって言ってみよう。

例 The girl plays the piano every day.

基礎的な語いをジャンルごとにまとめて補充します。イラストや簡単な活動を通して、活用しながら語い力を増強します。

習得したものを活用する① — 読む

USE Read

- GETで身につけた知識を活用して、長文を読む力を育みます。
・文法はGETですでに指導していますので、ここでは読む活動に集中できます。

現実的な場面設定で「読み」の目的を明確化します。

3段階のリーディング・タスクが読みをサポートします。

- ① Pre-Readingの活動で読むことへの動機を高め、背景知識を活性化させます。
- ② In-Readingの設問に答えることで、概要から詳細への読解の手順が自然と身につきます。
- ③ Post-Readingに取り組むことで英文を再度読み返し、読んだことについて考えたり、自分に引き寄せてとらえ直すことを促します。

Tipsでは、簡単な語法説明、および内容理解に役立つ背景知識を補います。

Checkでは、代名詞などの指す内容を確認したり文法のふり返りをします。

USE



Words
people
Japan
shoot

Read

- 車いすバスケットボールを見学した久美のレポートです。どのようなスポーツなのか、確認しよう。

Pre-Reading

バスケットボールについて知っていることを話し合おう。

Wheelchair Basketball

- ① Do you know about wheelchair basketball? Many people play it in Japan.
- ② This is Mr Kyoya Kazuyuki. He plays basketball. He is in a special wheelchair. He can move easily in it. He is a very good player. He can shoot very well.



京谷和幸選手

In-Reading

- 1 本文を一度読んで、印象に残った語句を書き出そう。
- 2 もう一度読んで、次の問いに答えよう。(□の数字は段落を示しています。)
(1) What sport does Mr Kyoya play? (②)
(2) What can Mr Kyoya do very well? (②)
(3) Can players push their chairs with the ball many times? (③)
- 3 車いすバスケットボールのルールを英語で言ってみよう。

Tips

車いすバスケットボールのルールは、車いすでプレイするために改めたところ以外は、コートの大きさ、ゴールの高さ、ボールの大きさなど、すべて一般のバスケットボールと同じ。1チーム5人。1ゲームは10分を4回。

Check

- ① 2行めのitは何を指しているでしょう。
- ② 5行めのitは何を指しているでしょう。

USE Read の標準的な授業時間は、見開きで2時間です。

● 読んだ内容をもとに考え、判断し、表現するタスクが豊富です。

・タスクに答えながら読み進め、読解を深めます。すべてを訳す必要はありません。

本文のジャンルは、メールや新聞、ガイドブック、ウェブサイトなど、パラエティに富んでいます。

本文の音読などを1回行うごとに1マスずつぬりつぶしていきます。

語数の目安です。1年生では100語程度から始め、3年生では最終的に300語程度の英文に取り組みます。

LESSON 7



What are some rules of wheelchair basketball? Players can carry the ball on their laps. They can't hold the ball too long. They can push their own chairs one or two times with the ball.

Wheelchair basketball is very exciting. Let's watch a game.



Words

- rule(s)
- carry
- their**
- long**
- push
- own
- or
- exciting**
- game**

lap(s)
ひざ(の上)

[87 words]

LESSON 7 USE Read ワークシート Class _____ No. _____
Name _____

Pre-Reading

バスケットボールについて、知っていることあげてみよう。

★1チームの人数は? _____人

★得点の方法は? _____

★ゲームの中で禁止されていることは? _____

★ほかにどんなルールを知っていますか? _____

単語ワークシート Class _____ No. _____
LESSON 7 USE Read Name _____

★LESSON 7 USE Read の単語です。確認しよう。

| 日本語 | 英語 |
|-----------|----------|
| 人々 | people |
| 日本 | Japan |
| シュートする | shoot |
| 規則、ルール | rule |
| 運ぶ | carry |
| 彼らの、彼女たちの | their |
| (時間が) 長く | long |
| 押す | push |
| 自分(自身)の | own |
| または | or |
| 興奮させる | exciting |
| 試合 | game |
| ひざ(の上) | lap |

Post-Reading
本文について、ペアで質問をし合い、内容を確認しよう。

Can Mr Kyoya shoot very well?

Try 本文の第3段落(図)に“they can push their own chairs one or two times with the ball.”と述べられています。なぜこのようなルールができたか、話し合ってみよう。

Tips

① 3行めのpushは、車輪を回して進め進むことを表している。
② ~ times で回数を表し、[~回]の意味になる。

Check

① 2行めのTheyはだれを指しているでしょう。
② canを使った文に下線を引こう。

選択的な扱いの **Try** は、推論などによりさらに読みを深めるタスクで、PISA型読解力に対応しています。

新出語を確認する「単語ワークシート」と、読みをサポートする「USE Read ワークシート」を、教師用指導書に用意します。

習得したものを活用する② — 聞く・話す・書く

USE Listen, Speak, Write

- GETで身につけた知識を活用して、聞く・話す・書く力を育みます。
 - ・GETで身につけた文法を使って活動します。新規の文法事項や覚えるべき単語は出てきません。
 - ・実態に応じて、オリジナルの活動を追加したり、置き換えたりして使うことができます。

リスニング・スクリプト

1, 2
 Naoki: This is Ms Matsumoto.
 Nancy: Oh, her dog is so cute. Is it her pet?
 Naoki: No, it's not her pet. It's her assistance dog.
 Nancy: Assistance dog?
 Naoki: Yes. The dog helps Ms Matsumoto. The dog's name is Mio.
 Nancy: What can Mio do for Ms Matsumoto?
 Naoki: Well, Ms Matsumoto can't hear.
 Nancy: Can the dog hear for her?
 Naoki: In a way, yes. For example, the doorbell rings. Then Mio runs and touches Ms Matsumoto. In this way the dog tells her, "Someone is at the door."
 Nancy: I see. Mio is Ms Matsumoto's 'ear'. Mio is a good dog.
 Naoki: Yes, she really is. She knows sounds too. She knows Ms Matsumoto's name. Someone says, "Matsumoto-san." Then Mio touches her hand.
 Nancy: That's wonderful. Assistance dogs can help people in many ways!
 Naoki: That's right. But remember. These dogs are not pets. They help people in special ways.

USE Listen

補助犬について知ろう



● 補助犬 (assistance dog) について、ナンシーと直樹が話します。

1 会話を聞いて、内容に合うものはTに、間違っているものはFに✓を入れよう。

- ① 補助犬はペットである。 T F
- ② 補助犬の名前はミオである。 T F
- ③ 松本さんは耳が不自由である。 T F
- ④ 補助犬は松本さんの目の役割をしている。 T F



(pet ペット help 助ける hear 聞く
 tell 教える someone だれか)

2 会話の中で、松本さんの補助犬は何ができると言われていますか。できると言われているものに○をつけよう。



()



()



()



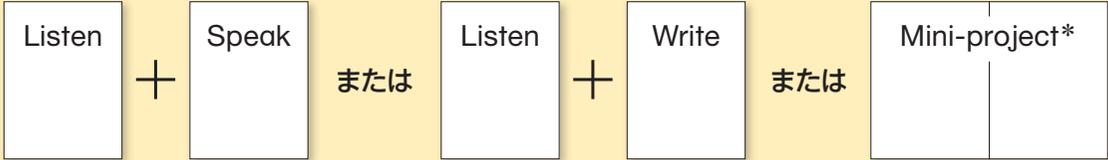
()

3 1, 2で聞いた内容をもとに、松本さんの補助犬を英語で紹介しよう。 統合

Ⓜ This is Ms Matsumoto's assistance dog. The dog's name is ...

Try ハンディキャップをもった人たちがよりよく暮らせるように、自分ができることについて考え、英語で書いてみよう。

USEの後半は、次の3つのパターンのうちの1つになります。



これらの活動のページの標準的な授業時間は、1ページ1時間です。

*詳しくは p.16~17へ

Write

LESSON 9

Speak

LESSON 7

何ができますか？



●友達に、できること・できないことをたずねて、無人島と一緒にいく仲間を探そう。

1 由希とジョンの会話を聞いて、聞き取った内容をメモしよう。

| | できること | できないこと |
|---------|-------|--------|
| 由希 | | |
| ジョン | | |

○由希はジョンに何とたずね、ジョンはどう答えていたか、確認しよう。 (make a fire 火をおこす / knife ナイフ)

2 あなたは無人島に行くことになりました。ボートは4人乗りなので、あと3人まで一緒に行くことができます。一緒にいく仲間を探そう。

(1) どんなことができる人と一緒にいきたいですか。3つまで✓を入れよう。

- cook well climb trees swim fast
 make a fire use a knife play the guitar

(2) (1)で✓を入れたことを表に書き、できるかどうか友達に聞いてみよう。できると答えたら、その友達の名前を表に書き入れよう。

| Can you ~? | できると答えた友達の名前 |
|------------|--------------|
| | |
| | |
| | |

3 自分や友達のできることをみんなの前で紹介しよう。 (総合)

◎ Yuki can cook well. I can't cook well. But I can play the guitar.

Try 発表したことを書いてまとめてみよう。



リーティングカードと写真が届きました。受

er in
ittle
a lot
nter
rs,
sica



Center クネディ宇宙センター Florida フロリダ
onaut 宇宙飛行士 space 宇宙 someday いつか

カードを書いてみよう。
しながら書いてみよう。

]
]
]
いてみよう。

習得したものを活用する③ — 複数の技能を統合的に活用する

USE Mini-project

- 学年に3回、それまでの集大成として表現活動を行います。
● プロジェクト型の活動では、大きな活動目標に向かってじっくりと取り組みます。

リスニングから入ることでスムーズに活動が始められます。

リスニング・スクリプト

A student from China:

I go to school in Shanghai, China. Our school year starts in September. The school year has two parts: fall and spring. Many schools start at 8:00. We have seven or eight classes every day. We have four classes in the morning and three or four in the afternoon. We have a long time for lunch. Some students eat lunch at home. Others stay at school and sleep a little.

A student from Australia:

I go to school in Sydney, Australia. Our school year starts in January or February, fall in Australia. My school year has four parts. Each part is about ten weeks long. The fall and winter parts end in July. Then we have winter vacation. We start again in August, our spring. The school year and our school work ends in December. Then we have a long summer vacation with no homework for most of December and January. I like summer!

USE Mini-project

ホームページを作ろう

● 自分たちの学校を海外の人たちに紹介しよう。

- 1 Listen** 自分たちの学校を海外の人たちに紹介するために、ホームページを作るようになりました。海外の学校とちがうところを紹介したいので、同じ町に住んでいる中国とオーストラリア出身の留学生から、それぞれの国の学校生活について聞きます。よく聞いて、日本と異なる点をメモしよう。

| | |
|---|---|
|  中国 |  オーストラリア |
| | |

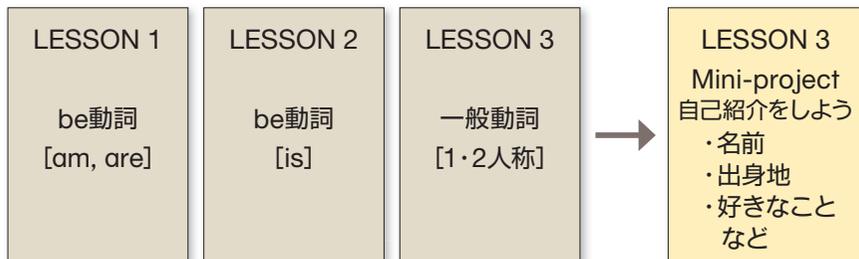
- 2 Write** 右ページはある中学校のホームページです。それぞれの写真には、どのような説明を加えたらよいでしょうか。写真を2つ以上選び、1で聞いたことや例を参考にしながら書いてみよう。

| 写真 | 説明文 |
|---------|--|
| 例) ㊦ | タイトル: Graduation Ceremony In our school, we have a graduation ceremony in March. In this picture, students are saying goodbye. |
| | タイトル: |
| | タイトル: |

IDEA BOX

entrance ceremony 入学式 school trip 修学旅行 sports day 運動会
 one-day camp 野外学習 chorus contest 合唱コンテスト graduation ceremony 卒業式
 walk 歩く enter ~ ~に入場する gym 体育館 visit ~ ~を訪れる
 run 走る hike 山歩きをする cook 料理をする sing 歌う
 take a picture 写真を撮る listen to the tour guide ツアーガイドの話聞く
 clap hands 拍手する say goodbye 別れのあいさつをする

例 1年 (直前に習った文法が活用でき、達成感が得られます。)

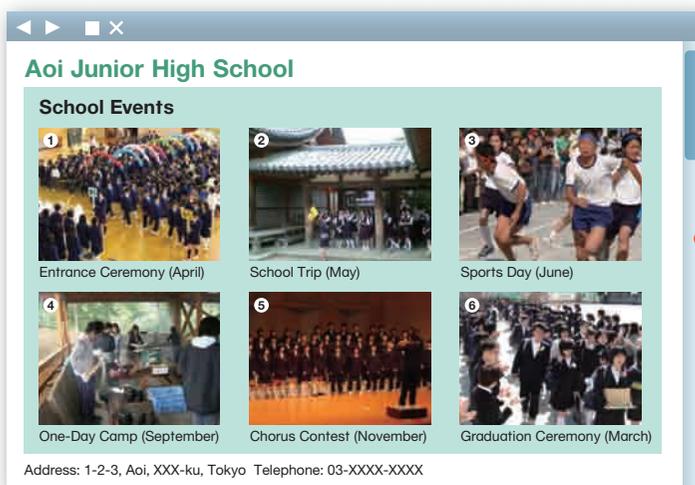


Mini-project の標準的な授業時間は、見開きで2時間です。

LESSON 8

統合

技能を統合的に扱った活動には **統合** のマークがついています。
*統合的な活動は, Listen, Speak, Writeにもあります。



より実生活に近い設定の中で、リアリティのある使用場面を演出します。

聞いた内容をもとに考えて書くなど、複数の技能を一連の活動の中で使用する「統合的な活動」が含まれています。

3 Speak 上のホームページ例を参考に、あなたの学校の行事を説明しよう。行事の写真などを用意し、できるだけたくさん紹介文を考えよう。そのとき、以下の3点を伝えよう。

- ① 行事は何か ② いつ行われるか ③ 何をしている場面か

4 Write 行事の中から、ホームページで紹介したいものを1つ選び、英文を書いてみよう。絵や写真を用意して、行事の様子がよくわかるように工夫しよう。

| | |
|--------|-------|
| 絵または写真 | タイトル: |
| | _____ |
| | _____ |
| | _____ |
| | _____ |

活動に役立つ語い・表現は、未習・既習にかかわらず IDEA BOXで紹介します。
*必修でない単語も含まれます。

Try みんなの書いた英文を集め、あなたの学校を紹介するホームページを作ってみよう。

身につけたことを確認する

まとめ

● レッスン末の「まとめ」では、その課で学んだ内容をふり返ります。

・先生の板書のように、ポイントを簡潔にまとめてあります。授業でも家庭学習でも活用できます。

英文のしくみや文構造を図解で視覚的にとらえます。レッスンのターゲットとなる文法をシンプルな例文で示し、日本語訳やイラストが理解をサポートします。

ペンギンのキャラクターが文法を学ぶときのヒントや間違いやすいポイントなどをやさしく教えてくれます。

本文ページへのフィードバックです。わからない文法事項は繰り返し学習できます。

まとめ

文法の要点

助動詞 can

●「～できます」(肯定文)

GET Part 1

Koji plays the piano. (耕司はピアノをひきます。)

Koji **can** play the piano. (耕司はピアノをひくことができます。)

(主) + **can** + 動詞の原形(もとの形) ~.

「～できます」とできることについて表現するときには、動詞の前に助動詞の can を置きます。can のあとの動詞は原形(もとの形)で、これは主語が何であっても変わりません。



can で「～してもよい」という許可も表すことができますよ。
You can go home.
(あなたは家に帰ることができます。→帰ってもよい)
Players can carry the ball on their laps.
(選手たちはボールをひざの上で運ぶことができます。→ひざの上で運んでもよい)

USE Read

●「～できますか」(疑問文・応答文)

GET Part 2

Koji can play the piano.

Can Koji play the piano?

たずねるときは can を文の最初に置きます。



— Yes, he **can**. / No, he **cannot** [can't].

↓ 答えるときは Yes, [主語(代名詞)] + can. / No, [主語(代名詞)] + cannot [can't]. で答えます。

●「～できません」(否定文)

GET Part 2

Koji **can** play the piano.

Koji **cannot** [can't] play the flute.

↓ 否定文では cannot [can't] を使います。



can の否定形でよく使われるのは cannot と can't だよ。
can not はほとんど使われないよ。



基本文のほか、重要な表現についても取り上げ、ていねいに解説を加えています。

● 英文や発音のしくみが直感的にわかるページです

・コミュニケーションを支える文法と発音の知識は、このページで整理できます。

LESSON 7

確認問題

- 次の文を「～できます」という文にしよう。
 - I play the piano.
 - Ms Green cooks tempura.
- ()内の英文を参考にして、日本語の意味に合う英文を書いてみよう。

| | |
|------------------------|--|
| ① エイミーはコンピュータが使えますか。 | (Amy can use computers.) |
| ② 私の父はサッカーがうまくできません。 | (My father can play soccer well.) |
| ③ あなたのお母さんは絵がうまくかけますか。 | (Your mother can paint pictures well.) |
| ④ 私の弟は泳げません。 | (My brother can swim.) |

文法や文構造の理解と定着を確認問題でチェックします。最低限の知識の習得が確認できます。

SOUNDS

● 発音とつづり

次のカタカナ語と英語を聞き比べよう。次に、wに注意して英語を発音しよう。

| | | | |
|---------|----------|-----------|---------|
| { ウーマン | { ウィンター | { ウェルカム | { ウォッチ |
| { woman | { winter | { welcome | { watch |

● 英語らしい音づくり

- 英語を聞いて、文の終わりの上げ下げを、()に 〴〵 などの矢印で書き入れよう。どんなルールがあるか、ペアで話し合おう。

Are you thirsty? ()

Please call me Dave. ()

What's kendo? ()

Do you practice kendo after school? ()
- 次の文を読むときに、息つぎをするところにスラッシュ(/)を書き入れて、ペアで一緒に読んでみよう。

Many people play wheelchair basketball in Japan.

Wheelchair basketball players can carry the ball on their laps.

音のしくみについてはSOUNDSで整理します。「発音とつづり」では、英語の音素とそれを表す文字との関係を意識する活動に取り組みます。「英語らしい音づくり」では、リズムやイントネーション、強勢など、より大きな視点から英語の音声への気づきを促します。

SOUNDSは指導用CDの音声に対応しています。